

MACF礼拝説教要旨

2020.11.01

「神がわたしたちの味方」

ローマの信徒への手紙8章31-32節

8:31 では、これらのことについて何と言ったらよいだろうか。

もし神がわたしたちの味方であるならば、だれがわたしたちに敵対できますか。

8:32 わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか。

\*\*\*

#### 1) 味方か敵か

「神が私たちの味方であるなら」と書いてありますが、神が私たちの側にいつも立っていてくれたら、と言う意味ですね。

本当に心強く、大きな励ましになるはずですが。私たちに「心の励まし」というか「精神的、靈的に前向きにさせてくれる支柱」が必要です。実は、私たちの肉体の細胞はことごとく、私たちの味方であり、私たちを生かそうとしてくれます。

細胞のすべて、あるいは肉体を構成する部位のほとんどすべてが「この肉体を生かそう」と「生かしたい」「知らせたい」「つなげたい」という方向に動いています。私たちが願っていてもいなくても、私たちが生まれてきてからここまで、生きているとすれば、肉体のほとんどの部分が「生かしたい」「知らせたい」「つなげたい」という意識で私たちの命を維持するために働いています。いわば、私たちの味方をしてれています。

ですから、病気、たとえば癌やコロナウイルスは敵のような存在ということになりますね。殺そうとして動くわけですから。

パウロは、前の章で

「5:10 敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。」と書いていて、私たちは神に対して敵対していた存在だったことを教えています。

しかし、愛に満ちる神様は、そんな私たちの敵対心に対して怒りをもって滅ぼすことをせず、イエス様を身代わりに罰することで私たちを生かしてくださいました。それは、まさに、敵だった私たちを赦して、神の側に立つ存在としてくださったことを意味しています。

さらに、神様ご自身が、私たちの側に立ち、味方になってくださるというのです。

#### 2) 味方としての神

「神が味方になってくださる」というとき、「神が常に生きるを選べるように力を与えてくださる」「私たちが希望を失わないように、神が常に私たちの側に立ってくださる」という意味を持ちます。

冷静に考えれば、神はすべての被造物に対しては「味方」なのだと思えます。

ご自分で創造されたすべてのものに対して神は「それらの味方として寄り添い、味方として彼らが生きられるように配慮してくださっています。

そして、神様は味方になってくださったばかりでなく、御子イエス・キリストを私たちのために与え、聖霊を私たちの心に送り、現実的に私たちのいのちを守るために全力で、生かし続けようとしておられます。

私たちが生きている全部の時間、365日。1日24時間、神は決して居眠りもせずに、私たちの肉体的な命だけでなく、精神的、靈的いのちを守ろうと働いてくださっています。日ごとの糧を与え、赦しをもたらし、平安な心を与えてくださいます。

す。  
詩編121は有名ですね。

121:1 【都に上る歌。】目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。

わたしの助けはどこから来るのか。

121:2 わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから。

・・・

121:4 見よ、イスラエルを見守る方はまどろむことなく、眠ることもない。

121:5 主はあなたを見守る方あなたを覆う陰、あなたの右にいます方。

121:6 昼、太陽はあなたを撃つことがなく夜、月もあなたを撃つことがない。

121:7 主がすべての災いを遠ざけてあなたを見守り

あなたの魂を見守ってくださるように。

121:8 あなたの出で立つのも帰るのも主が見守ってくださるように。

今も、そしてとこしえに。

このお方が私たちの側にいてくださるのです。

### 3) 神を味方に生きる姿勢

「神が味方になって、私たちの側にいてくださる」ということは素晴らしいことですが、だからといって、私自身が強くなるわけではありません。

私自身が自分の力で自分を救うことができるわけではありません。

むしろ、自分の弱さがますますわかるようになり、神様の存在自体のありがたさがもっともっとよくわかるようになってきます。

パウロはこう告白しました。

コリントの信徒への手紙第二

12:7 また、あの啓示された事があまりにもすばらしいからです。それで、そのために思い上がることの無いようにと、わたしの身に一つのとげが与えられました。それは、思い上がらないように、わたしを痛めつけるために、サタンから送られた使いです。

12:8 この使いについて、離れ去らせてくださるよう、わたしは三度主に願いました。

12:9 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。

力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。

だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。

12:10 それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。

なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。

神が私たちの味方だからと、高慢な生き方に向かうのは危険であり、不健全です。

主なる神が味方だからこそ、私は前向きに生きていけると言うことがわかればわかるほど、私たちは謙遜さを教えられ、もっと丁寧に自分の弱さと向き合って生きることが求められています。

「神が味方でいてくれること」は大きな恵みです。大きな神秘でもあります。

神は、あなたの心に常に共におられ、味方としてつねに命の糧と希望とを与えてくださっています。

8:31 では、これらのことについて何と言ったらよいだろうか。

もし神がわたしたちの味方であるならば、だれがわたしたちに敵対できますか。

8:32 わたしたちすべてのために、その御子をさ

え惜しまず死

に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らない  
はずがありませんか。

神は御子イエス・キリストを与え、聖霊を与え、あらゆる必要物を与え、神様ご自身のすべてを私たちに提供してくださいました。

愛に溢れた味方、永遠の同伴者、それが私たちの神、それが私たちを救ってくださる神です。

++++

++++

聖餐式についてのヒントは  
<https://youtu.be/L8KxFtZk7cY> をご覧ください。